

局長 着任あいさつ



8月8日坪香局長が来所され、着任のご挨拶をいただきました。

この7月11日付で東北地方整備局に配属となりました。着任時にもごあいさつ申し上げましたが、非常に広いところで水も資源もたくさんあるものを有効に活用できるように社会資本を進めて行くことが私どもの使命と感じております。社会資本を進める、あるいは出来上がった社会資本をきちんと管理するということに2つのことを各事務所にお話させていただいています。

1つは、愛着が持てるような国土整備を行いたいということです。施設を造るときは機能等山ほど説明し、着工すると周りをフェンス等で囲み1～2年経ち仮設が取り払われると忽然と立派な施設が現れる。こうなると愛着を持てるなんてことは到底考えられません。我々が造っている公共施設もその地域の人々が日頃出来上がっていくのを見続けているとか、意識的にでも参加意識があるなどの形でものを造っていくことがこれから大事なことだと思います。

もう1つは、公共施設が地域の人達から離れ

たところに存在しているということです。最近の洪水時に市町村長が避難勧告を出しても避難してくれない人がたくさん出てきて、これは非常に大きな課題です。それは何故かというところ「今まで一度も被害にあっていない」「今回もきっと大丈夫だろう」と漠然と考え非難するという意思決定が出来なかった訳です。これは、自分の住んでいるところが、どういう川の浸水区域になっていて、どの程度自分を守ってくれて、どのダムが洪水調節をしてくれているのかということをもっと知らないという状態です。そういう意味で堤防やダムがその地域の人々から極めて遠い存在になっていることが言えるのです。愛着を持てる身近な施設として公共施設を考える、その中で公共施設に対するきちっとした評価が出来るとなると思う訳です。ダム管理というのは極めて厳しい状況があります。洪水調節のときには緊張感をもって厳しい状況の中で行っていることについて心からお礼申し上げ、我々がダムを適切に管理することがダムの建設であったり、ダムの整備であったり、あるいは公共施設をきちっと造っていくことに対する国民の信頼が非常に重要なことだと思います。そして身近な存在となるような施設であってほしいと思います。地域の皆さんの我々に対する期待は大きなものがございます。それに応えるべくこれからも努力していきたいと思います。

(ご挨拶より要約)

さくら湖自然環境フォーラム 2006 開催

三春ダム（さくら湖）は平成10年3月に完成し、地域に開かれたダムとして環境学習にも広く利用されています。そして、さくら湖の自然環境保全の方向性を見出す目的で、平成12年から「さくら湖自然環境フォーラム」を開催してきました。

第7回目の今回は「大滝根川流域のこれからの土地利用と水環境」をテーマに小学生のみなさんによる研究発表や、流域の方々によるパネルディスカッションなどが行われます。どなたでも自由に参加できますので、興味のある方はぜひご参加ください。

と き：平成18年11月15日(水)
と ころ：三春交流館 まほら



8月8日(火)、福島市において「防災・減災フォーラム 2006 in 福島」が開催されました。近年、梅雨前線による集中豪雨や台風が多く上陸するなど、記録的な豪雨と、それに伴う浸水被害により多くの人命や財産が失われています。このフォーラムは、台風シーズンの前に、もう一度地域や家庭の防災対策を考えることを目的として開かれたものです。

はじめに、「2005年 自然災害の記録」として、昨年全国的に起こった豪雨の状況や被害を撮影したビデオが上映されました。このビデオでは、近年多発している「局地的豪雨」による堤防の破堤や土砂崩れ、道路の陥没などの様子や、浸水被害を受けた人々の様子を映していました。改めて、大雨による被害の悲惨さが分かりました。逃げ遅れや、逃げられない人など、特にお年寄の方は避難することが大変なので、地域の人達で守る(共助)ことが重要だと思いました。また、自分達の避難先や経路を把握しておくことも重要だと思いました。

次に、日本大学工学部教授 高橋先生による基調講演が行われました。この講演では、過去の降雨の状況と現在の降雨の状況の比較や河川堤防の変遷、防災対策をどう考えるかについて、お話を頂きました。印象に残っているのは、過去の降雨も現在の降雨も、年間降水量は変わっていないということです。年間降水量は変化がないのに、堤防整備が進んだ現在でも、洪水被害が発生しているのは、何故か・・・それは、今まで年間を通して降っていた雨が、ある月、日にまとまって降っているからです。特に、最近では1日100mm以上の雨が降る事例が多くなっています。こういったデータは、今後、河川整備等を行ううえで考えなければならない事だと思いました。

最後に、パネルディスカッションが行われました。高橋先生をはじめ、地元の方や消防団、NPOで活動している方、国土交通省から福島河川国道事務所長の5人のパネラーで、テーマに沿って自身の体験や考え、取り組みなどについて話し合われました。

パネラーの方々の意見としては、地域で防災費用を積立している、地域住民や地域企業のコミ

ュニケーションを図り災害時に協力する、河川状況を把握しておき大雨時に注意する、光ファイバーや監視カメラを整備し河川状況を把握できるようにする等々、活発な意見交換が行われました。また、情報提供に関して、発信側と受信側とで言葉の意味・捉え方を共通の認識を持つことが必要であるという意見もありました。これは、非常に重要なことで、例えば「時間100mmの雨」と言っても、住民の方々にはどの程度か分かりづらいかもしれません。ただ「時間100mmの雨」と言うのではなく、その雨が降ったらどうなるのか、住民の方々にわかるような説明が必要になると思います。

このように、近年多発している豪雨に対して様々な意見交換が行われました。ここでは書ききれないほどですが、自分なりに印象に残っていることをまとめました。パネラーの方々の意見は、大変貴重なものであり、行政・地域住民を問わずいつ起こるかもしれない災害時の対応について、参考になったことと思います。自分も行政側の人間ですが、大雨が降った時は、大雨被害を出来る限り抑えられるよう努力していこうと思います。

最後になりましたが、パネラーの方々には、貴重なお話を頂き、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



風力発電（湖南町）見学



今回とても貴重な経験をしたので、この場をかりて報告したいと思います。（専門的なことはわからないので、私が見たこと、感じたことを書きたいと思います。）

8月2日。快晴。電気通信係のみなさんと湖南町にある風力発電の見学に行ってきた。

想像してはいましたが、初めから驚きの連続でした。とにかくデカイ！！そして広い！！ガンゴムの部品みたいに、白くピカピカなブレード（羽）。宇宙船みたいなナセル（羽の中央・直径5m）。見る物すべてが不思議な物体で、上を見ては、ただただ感心するばかりでした。

それぞれの部品（ドイツ製）は、小名浜港から運ばれるわけですが、ほとんど夜中の移動で朝のうちには現場入りするそうです。でも、50tもある発電機部分は、現場に到着するまでに3日かかるそうです。部品が通る道は山道でうねうねしています。道幅が足りない箇所は鉄板で補強してありました。あとはドライバーさんのテクニックで慎重に現場まで運ばれます。そして現場に着いた部品はそれぞれ組み立てられ、一つの大きな風力発電機になるわけです。

まず塔を立てる。クレーンでナセルを塔のてっぺんまで持っていき、取り付ける。そして、64m上空でナセルに発電機を入れる作業が行われ、ブレードの付いた部品を取り付ける。まさに神業です。



そんな作業が33台分行われるのです。さらに、自然を壊さないようにとの思いから、鳥の為に人工の巣を作っているとのことで、去年その巣で雛がかえたのが確認されたそうです。自然との共存も大切に、作業が行われていました。



天気良ければ、猪苗代湖が見えるまさに絶景！全て完成したら、もう一度この感動を味わいに行きたいと思います。完成したら、ぜひみなさんも足を運んでみてください。とても素敵なおとこですよ。

田村市立船引南中学校訪問

船引南中学校3年生が総合学習で環境をテーマに各班ごとに研究することになり、田村市南部から三春町の境界で水の変化はあるのか、また現在と過去では川の水はどのように変化しているのかを調べるため、研究の方法や進め方、試薬の使用方法などについての説明に水質係が訪問してきました。残念ながら生徒のみなさんは授業中でしたので担当の先生への報告となりました。これから調査研究をして10月末に行われる文化祭で水質調査の結果を報告し、保護者をはじめ地域の方々といっしょに環境について考えようとしていますという学校の取組みを伺うことができました。





ミーちゃん＆れんくんのお なぜ?なに?さくら湖



Q. 三春ダムでは、植物プランクトン（アオコ）が増えないように何か対策をしているの？

A. その1. 前貯水池（前ダム）といって上流から流れてくる川がさくら湖に流れ込む前に小さなダムを造って、川をせき止めることによって水の流れを遅くし、川の水に多く含まれる植物プランクトンの栄養となる窒素やリンを、上流から一緒に流れてきた土砂などといっしょに沈殿させて、栄養の少なくなった水をさくら湖に入れるようにしています。

さくら湖には、本川前貯水池・蛇石前貯水池・牛繰川前貯水池・蛇沢川前貯水池の4つの前貯水池があります。



自然観察ステーションからのお知らせ

< 秋の味覚を味わおう >

10月7日（土）午前9時～12時 ※小雨決行
参加費 300円 申込期限 10月5日（木）
ステーション周辺の森を散策しながら、食べられる木の
実、そうでない木の实などを観察、実際に食べて見ます。

< 大滝根川流域の地形と地質 >

10月21日（土）午前8時30分～午後4時
観察場所 田村市内 申込期限 10月19日（木）
参加費 高校生以上：300円／中学生以下100円
未就学児：無料 ※雨天中止

< 星を見る会 >

10月13日（金）・21日（土）・27日（金）
午後7時～9時
参加費 大人：200円／子供：100円
・・・お問合せは・・・

さくら湖自然観察ステーション 0247-61-1546
三春交流館まほら 0247-62-3837

さくら湖周辺イベント紹介

La Festa Mille Miglia 2006

今年もクラシックカーがさくら湖周辺を走ります！

10月14日（土）磐越自動車道郡山東IC出口
（午後3時40分頃）→原石山駐車場（午後3時55分頃）通過する予定です。



原石山駐車場
では、タイムレースも行われます。



フォーレからのお知らせ

10月の定休日のお知らせ

2日、10日、16日、23日、30日

※9日（月）は、営業いたします

8月の見学者

- 8月9日（水）三春町中央児童館（57名）
- 8月9日（水）福島大学（17名）
- 8月17日（木）もてぎの川をきれいにする
基金運用委員会（17名）
- 8月21日（月）コープふくしま緑ヶ丘コープ委員会
（10名）
- 8月24日（木）開成地域公民館フレッシュ学級（30人）
- 8月28日（月）マスターズクラブ高齢者教育講座（25人）
- 8月28日（月）西根史談会（18人）

編集後記

春はピンク色に染まったさくらの公園も赤や黄色と山全体が紅葉してきました。通勤時に色を深めていく様子を眺めるのが楽しみな毎日です。遠くから見るとさくらの公園も良いのですが、散策するとドングリや栗などをたくさん見つけることができます。拾った栗で栗ご飯にして二度楽しんでみてはいかがでしょうか。（石井）

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を
お待ちしております。

〒963-7722
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
TEL0247-62-3145 FAX0247-62-3170
ホームページアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>